

お元気ですか?民児協からの情報紙

ほほえみ通信

※「民児協」…民生委員児童委員協議会の略称です。

第 28 号 (平成 29 年 11 月 18 日)

編集・発行 開成町民生委員児童委員協議会

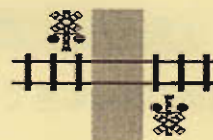
ほほえみ通信編集委員会

事務局・問合せ 開成町社会福祉協議会

《電話 82-5222》

*さわやかな空気の中、お出かけの際の・・・

踏切事故には、要注意!



皆様、開成町には、何か所の踏切があるか、ご存知ですか?

実は約2km×3kmの町内に6カ所の踏切があります。

(右の図をご覧ください。)

皆様のお宅の近くにも、散歩や買い物の際、日常的にご利用されている方も多いのではないのでしょうか。踏切での事故を防ぐためにも、改めて次のことにお気を付けください。

●踏切で警報機が鳴り始めたら、踏切の中には入らない。

☞鳴り始めてから列車が通過するまで30秒程度です。

焦らずに遮断機が上がるまで待ちましょう。

●危険があれば、「非常ボタン」を押す。

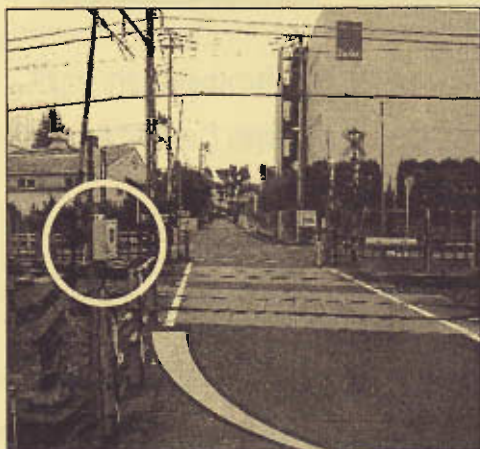
☞非常ボタンを押すことによって、付近を走る電車に自動でブレーキがかかります。

☞ボタンを押す場合はしっかり、奥まで押してください。



遮断機のある踏切では、「非常ボタン」は必ず左側に設置されています。

左の写真は開成駅近くの踏切です。丸で囲んだところに「非常ボタン」が設置されています。



近くで見ると
右の写真のよう
になっています。



皆様も、この機会に最寄りの踏切の「非常ボタン」の位置を、是非ご確認ください。



3.11 東日本大震災を忘れないために

～復興へ向けた被災地民生委員活動のいままでとこれから～

民生委員制度は今年で100周年を迎えます。それを記念し、去る10月29日(日)開成町福祉大会の第2部として、石巻市民児協より3名の方をお迎えし、上記テーマで講演会を行いました。震災から6年余り、その間の地域復興の歩みを、それぞれにお話しいただきました。

「見守る」から「見守られる」へ

講演後の質疑応答で「災害が起こる前、いつもの生活の中で出来る備えは何ですか?」という問いに対し、「いかに設備や制度を備えていても、大きな災害では『想定外』のことが起こってしまいます。」とのお答えを頂き、考えさせられました。その中で「見守る」のではなく「見守られる」、つまり日頃から不安なこと、心配なことを地域で分かち合うことが、想定外の出来事の中で底力を発揮するというお話が心に残りました。地域のお住まいの一人ひとりが、「見守られている安心」を日々感じながら、暮らしていけるよう、民生委員として何が出来るか、改めて考える良い機会となりました。

小学校の「ふれあい大会」のお手伝いをさせていただきました

10月28日(土)開成小学校、開成南小学校にて「ふれあい大会」が行われました。民生委員は開成小学校では綿菓子作り、開成南小学校では「カーレット」を行いました。

受付の風景。300人くらいの子供たちが来てくれました。

みんな、ちゃんと並んで待っていてくれます。こちら350人くらいの来場がありました。

【開成南小学校】

【開成小学校】



「1人1本だよ～」



赤い石
青い石



カーレットは机の上で行うカーリングです。円の中心に近い方が勝ち。この写真だと、青の勝ちになります。初めての方でも、すぐにゲームができます。町内で大会もありますよ。皆様も是非、参加してみてください!

編集後記

日々寒さが増していますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も残すところ1ヶ月余、皆様にはお世話になりました。新しい年に期待しつつ、楽しい年の瀬となりますように。くれぐれも、暖かくしてお過ごしください。

～小金・遠藤・大野・碓井～